

詳細はHPで
ご確認ください

注意

令和5年度前期の授業は、対面授業を予定しますが、新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮して、オンラインでの遠隔授業に変更する場合があります。
(オンラインによる遠隔授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は各自でご準備下さい)

【大学院ご案内】

大学院科目等履修生は大学卒業の方が対象です。1科目につき1単位が取得できます。費用は1単位あたり14,400円です。(検定料5,000円と入学金10,000円が別途必要です。)

【学部ご案内】

学部開放科目は18才以上の方でしたら、どなたでも受講していただけます。(高校1年～3年生は、『大学授業の公開制度』を利用できます。詳細は、和歌山大学のホームページをご覧ください。募集期間は別途設定されておりますのでご注意ください。)単位認定や試験はありません。お気軽に受講ください。週末中心の授業で働きながらでも学びやすくなっています。費用は1科目あたり11,000円です。(令和4年度前期申請より登録料制度は廃止しました。)

オンライン決済を導入しました！ 学部開放科目の聴講料のみATMやネットバンキングから振り込めるようになりました。



大学院科目等履修生募集科目
【各若干名募集/教室定員10名】
開講曜日：原則土曜日



学部開放授業受講生募集科目
【各15～30名程度募集/先着】
開講曜日：原則土曜日

民法(大学院)

本講義では、民法第3編債権の契約と不法行為を中心に近年の学説と判例について検討します。①高金利の制限に関する利息制限法と貸金業法に関する経緯、②借地借家に関する民法の賃貸借の規定と借地借家法との関係性、③不法行為の一般規定である民法709条とその特別法である製造物責任法や自動車損害賠償保障法・原子力損害の賠償に関する法律などとの対比を重点項目として、民法(財産法)の法的思考方法を講義します。

■担当教員：吉田雅章
■日程：6月17日(土)、7月8日(土)、22日(土)

経済立地論(大学院)

この授業では、人間の経済活動とその中心である集落・都市の立地について、産業構造別、および形態別に立地の規則性に関する理論を学びます。具体的には、テキストの輪読を通じて農業・工業・商業の各産業の立地論、そして都市・集落にかかる中心地理論について、その理論的系譜および応用分析・実態例について学んでいきます。マッカンらのテキストによる数理的なモデルにも言及しますが、極力数学的な手法は使用せずに解説することにしたいと思います。

■担当教員：藤田和史
■日程：4月22日(土)、5月13日(土)、20日(土)

地域づくりの理論と実践 D(学部) ※通年科目

※この科目の授業会場は秋津野ガルテンです。(定員15名)

少子高齢化が進展する日本では、都市と農村との格差が拡大し、農村では「限界集落」が増加するなどの問題が起っています。しかし、その一方で食の土台となる第一次産業の営みや農山漁村での暮らしに対する都市住民の関心も高まっています。農村においても「地域資源の活用」「農工商連携」「都市農村交流」など様々な取り組みが進められています。本講座は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、かつ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講します。

■担当教員：大浦由美、岸上光克、阪井加寿子
■日程：※詳細なスケジュールが決まり次第、南紀熊野サテライトホームページ等で公表いたします。

南紀熊野の自然(学部)

この授業は串本町から田辺市にかけての沿岸部などの丘陵部、海岸付近の地形・地質、植生(粘菌を含む)、海岸周辺の海の生物に焦点をあてて、地域の自然特性などを学ぶ。黒潮の影響を受けている紀伊半島枯木灘海岸は、串本町ではラムサール条約湿地としてサンゴなどの熱帯性生物が存在し、地形的には海岸段丘が発達して、崖にはジオサイトであるフェニックス褶曲が見られるなどします。波食台に多様な磯の生物を観察することで、黒潮による多様な自然について理解できるようになることを目標とします。

■担当教員：古賀庸憲、此松昌彦、高須英樹(非常勤講師)
■日程：5月13日(土)、27日(土)、6月24日(土)、7月15日(土)、22日(土)、8月19日(土)

南紀熊野ジオパークの自然と風土(学部)

南紀熊野には多くの地域資源がある。その中でも地形・地質をベースにした、生物、文化をとらえて固有な地域資源をアピールする南紀熊野ジオパークは、南紀熊野地域の地域資源の素晴らしさを学び、どんな価値があるのかを知るとても大事なツールにもなっている。住民の皆さんが、自分の住む地域では高い評価を持つ自然・文化があることを知ること、災害が時にはあるが、それ以上の守るべき価値のある自然や文化を守ることにつながる。

■担当教員：此松昌彦、本郷宙軌(非常勤講師)
■日程：6月17日(土)、18日(日)、7月1日(土)

地域経営資源論(学部)

南紀熊野は世界遺産をはじめ、南紀熊野ジオパーク、ラムサール条約湿地など、観光資源が豊富な地域ですが、著しく人口が減少している地域でもあり、長期的な存続が危ぶまれています。そこで、南紀熊野を持続可能な地域にするために、どんな地域資源を活用して振興をしていく必要があるのかを皆さんと考えていきます。この授業では、地域の特産物、地域の文化財、自然、風景、温泉、歴史上の出来事などを地域資源ととらえ、その経営のあり方について考えていきます。この授業を通じて、地域資源を発掘し、磨き上げを行うとともに、地域資源を組み合わせることで商品化する方法や、売りたい顧客に売りたい商品の情報を適時的確に伝える方法の基礎を学んでください。

■担当教員：出口竜也、竹林浩志、此松昌彦
■日程：5月20日(土)、7月8日(土)、29日(土)

和歌山大学 南紀熊野サテライトとは？



『和歌山大学南紀熊野サテライト』は和歌山大学が和歌山県と連携して田辺市の和歌山県立情報交流センターBig・U(ビッグユー)内に開設しています。南紀熊野地域の活性化・文化向上を目的とし大学の保有する高等教育機能を活用して、地域のニーズにあった諸種の高等教育及び生涯学習・地域連携事業、大学の地域での教育・研究活動の推進や地域での報告会、研究会の開催など地域の知の拠点として活動しています。

和歌山大学南紀熊野サテライト 連携協議会とは？

地域と考える
地域と共に学ぶ!

南紀熊野地域の活性化・文化向上のため、和歌山大学南紀熊野サテライトが地域のニーズに応え充実した高等教育サービスを提供できるよう、運営支援する、和歌山県と地元自治体11市町村や関係団体による協議会です。

南紀熊野サテライトと連携組織



和歌山大学南紀熊野サテライト

【学内組織】
和歌山大学の総合出先機関として高等教育、地域での教育研究、生涯学習、人材育成の拠点

和歌山大学南紀熊野サテライト連携協議会

【地元組織】
和歌山県が事務局となり地元の市町村・商工会議所が参画。高等教育事業への支援

きのくに活性化センター

【地元組織】
地元の自治体、商工会議所、JA、大学等が協働して設置した地域シンクタンク。主に地域振興等の事業で連携

活動内容

1. 高等教育・生涯学習・高大連携

高等教育

紀南地域の田辺市、新宮市、他で和歌山大学の授業や講座が受けられます。

- ※令和5年度前期は、対面授業を予定しますが、場合によりオンラインによる遠隔授業で実施します。
- 地域課題やフィールドワーク型の授業も展開しています。
- 地域のキーパーソンの方もゲストスピーカーで登壇します。
- 定員は大学院科目が若干名(教室定員10名)、学部科目が各15～30名程度です。
- 大学院は、社会人特別選抜試験を経て「修士(経済学)」の取得が可能です。

最近開講された科目

- (大学院) 「経済思想史」「公益事業論」など
- (学部) 「暮らしと法律」「旅人の哲学」など



生涯学習リカレント教育

県・市町村教育委員会との協働事業へ参画・相談できるネットワークづくり、人づくりを行っています。

「公開講座の実施」

地域づくり・地域課題解決をテーマとする公開講座やサイエンスカフェを実施しています。

高大連携

和歌山大学の各種入試情報の発信や募集要項冊子の配架を行っています。また、高校生の方にも、和歌山大学南紀熊野サテライト(田辺市所在)の授業を受講体験していただける学部開放授業も開催しています。

その他、高校生や若い世代の方にもお茶を楽しみながら気軽にご参加いただけるサイエンスカフェも開催しています。

2. 地域研究・地域創造支援



「地域研究の推進」

「地域貢献機能の充実を図るためのプロジェクト事業」実施や学生・教員の各種の地域での共同研究の支援や連携先の紹介など地域拠点として活用されています。

「人材育成事業を実施」

地域研究や地域課題解決を自立的に考える人材育成事業を実施しています。

例：過疎地域の生活交通やジオツーリズムに関する調査研究実践の支援

3. 地域連携・産官学連携

「南紀熊野観光塾」

紀南地域での持続可能な地域経営を担う中核人材の育成を目的として実施。その他、自治体などと連携した研修や企画事業を行っています。

「きのくに活性化センターとの連携」

〈今までの活動事例〉
まちづくり実践、計画策定、調査研究事業などを実施
田辺広域産業振興ビジョン、田辺市観光ビジョン、中心市街地活性化事業 など

「地域づくりへの参画・NPO連携」

地域の企業、NPO 団体との連携など



※なんらかの支援または情報保障が必要な方は、3月31日(金)までに南紀熊野サテライトまでご連絡ください。

お問い合わせ先：和歌山大学南紀熊野サテライト

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9 和歌山県立情報交流センター Big・U 102 号室
TEL.0739-23-3977 FAX.0739-23-3978 ■開室時間 10:00～17:00(日曜・月曜・祝日休み)
ホームページ <http://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>
メール nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

